

参加したインターンシップについて教えてください。

日系・外資系証券会社を中心に6社のインターンシップに参加しました。実施期間は短いもので3日間、長いもので2週間。印象に残っているのは、実際の職場で業務体験ができたプログラムですね。日系証券会社では過去のデータを用いてデリバティブのトレーディング業務をさせてもらったり、外資系証券会社では仕組み債の組成と販売をする部門で新商品の企画を体験できたりしました。外資系証券会社の投資銀行部門では分厚い資料を渡され、顧客企業の企業価値向上のための手法を考えるとというプログラムがありました。このプログラムは、徹夜で取り組むなど大変でしたが、実際の働き方を体験できたのは良かったですね。

参加して良かったのはどんな点ですか。

仕事理解を深められたのはも



ちろんですが、各社の社風やどんな社員が働いているかを知ることができた点ですね。OB訪問をしても出会える人数は限られますが、社内に入ること多くの社員の方と接することができ、その会社の社風や社員のとなりをより深く知ることができました。あと細かいところですが、業務上でエクセルを使いこなせた方が有利だとか、必要なスキルを実感できました。

インターンシップの選考対策や情報収集でやったことは？

実は学部生のころにもコンサールのインターンシップに応募し

case

01

## 先輩体験談

### 就職活動を見据えて、今の時期に経験を積むべき

早稲田大学大学院  
先進理工学研究所  
修士2年

小畑 崇史さん

証券会社 トレーダー内々定

ていたんですよ。その時は選考で落ちてしまっていて(笑)。悔しかったので、実際にトレーディングをしたり、金融に関する本を読んだりして業界研究をしていました。具体的な選考対策については、学部生の時に受けたグループディスカッションが散々だったので、理系ナビのGD対策講座に参加するなどして対策を行いました。

選考対策で感じたのは情報収集の大切さですね。仕事についての情報をしっかり収集し、理解を深めていけば「自分のこんな長所が仕事に活かれます」といった自己アピールができます。そのために、サマーインターンシップの前にOB訪問をしたのですが、各企業でどんな人が働き、採用されているのかを知れたのは大きかったですね。

インターンシップへの参加は就職活動に役立ちましたか？

参加して良かったと思います。仕事理解の面では、トレーディングのイメージが変わりま

した。トレーダーは商品が変わってもやることはそんなに変わらないと思っていました。商品によって業務スタイルがかなり異なるということを実感できました。また、本選考につながるような人脈を作れたのも大きかったですね。

これからインターンシップ、就職活動を控えている方へのアドバイスをお願いします。

就職活動で実際やってみたいとわからないことは多いので、今の時期にいるんな経験をしておくことをお勧めします。インターンシップは積極的に応募して経験を積んでほしいですね。研究などのスケジュール調整は大変でしたが、私はやって良かったと思っています。また、インターンシップで企業の方と人脈を作れるというんな面で有利ですよ。

参加したインターンシップについて教えてください。

インターンは素材メーカーの2週間のものと証券会社の1dayに参加しました。証券会社のプログラムはゲーム形式で金融ビジネスを学ぶという内容で面白かったですね。ゲームを通じてマーケットの不確実性や金融における人材の重要性などを学びました。素材メーカーでは実際の職場に配属され、製品の品質向上を目指して一編の論文と膨大な解析データから自らの手法を提案するという自由度の高い実践型プログラムでした。実地データが欲しいと社員の方にお願したところ、実際に工場へ連れて行ってもらえるなど、親切にフォローいただいたのが印象に残っています。

参加して良かったのはどんな点ですか。

メーカーのインターンで強く印象に残っているのは、企業のものづくりではコストや納期が

非常に大切になってくる点です。大学では、できるかできないか、理屈を検証するのに対して、企業では、コスト・納期と需要のバランス、が取れるかどうかを重視する。自分が考えた手法は品質を高めうるものではありませんでしたが、コスト面での採算を意識できておらず、企業が社員に求めるレベルには達していなかったと思います。需給バランスを考える重要性を痛感しましたね。この経験を通じて、ものづくりの厳しさを感じる一方、自由な発想で世の中に新しい製品を送り出すという、ものづくりのやりがい、を感じる事ができました。



東京大学大学院  
工学系研究科  
修士2年  
H.Mさん  
素材メーカー内々定

case

02

## インターン

### 業務体験を通じて知った“ものづくりの本質”

インターンシップの選考対策や情報収集でやったことは？

応募の際に志望動機や最近気になったニュースなどを聞かれるので、ニュースは普段以上に意識しました。大変だったのはスケジュール調整ですね。研究が第一ですから、夏までは死に物狂いで研究し、徹夜も珍しくありませんでした。GWと誕生日に徹夜したのはいい思い出ですよ(笑)。この頑張りを見てくださったのか、教授にも2週間のインターンシップを許していただきました。大変でしたが、一度きりの人生を後悔しないように徹底的にやりたかったです。辛いと思ったことはありませんでしたね。

インターンシップへの参加は就職活動に役立ちましたか？

就職する企業を選ぶ上で、社風の大切さに気付けたのは大きかったですね。自分の性格とそこの会社の社風・風土が合う合わないかは、多くの企業を見る

ことでわかってきます。一緒に働きたいと思える社員の方と出会えるかも大切ですよ。

これからインターンシップ、就職活動を控えている方へのアドバイスをお願いします。

最終的にインターンに参加した企業、業界へ行くとは限りませんが、絶対にいい勉強になります。企業に招かれ、業界・業務内容を説明してもらえる機会は一生でも今のうちだけです。ただ、スケジュール調整が大変な分、参加しただけで満足しないよう注意してください。自分は最初、「やっぱ給与は重要でしょ」と思っていました(笑)、インターンを通じて仕事や会社を知る中であつと大切にしたいものに気付きました。理系学生は忙しくて大変だと思えますが、就職は受験と一緒に必ず乗り越えなければならぬ壁。どうせやるなら楽しんでほうが人生お得です！皆さんもぜひ楽しんでみなから就職活動をしてください。